

令和 8 年度第 1 回上牧町地域公共交通協議会 議事録（概要版）

【日時】 令和 8 年 6 月 25 日（木）

【場所】 上牧町役場 3 階 委員会室

【出席者】 別紙参照

【事務局】 武安課長、野村課長（総務課）、福本補佐、小松係長、
日本工営都市空間（株）（記）

1. 開会・町長挨拶

2. 前回議事内容の確認

1) 質疑応答

- (1) 吉田委員：国内のライドシェアと公共ライドシェアの違いについて、また、道路運送法に基づきタクシー会社が運行管理やドライバー管理を行うことが可能か確認したい。

事務局：国内のものについては、基本的には交通事業者が運行管理や点呼、シフト管理等を行う想定であり、交通事業者なしで実施することは現実的には難しいと考えられる。

- (2) 副会長：県内で先行して公共ライドシェアを実施している事例があれば教えてほしい。

新関委員：大和高田市で実証実験に参加した。白ナンバー車両を用い、二種免許を持たないドライバーの運行管理をタクシー事業者が行う形で実施された。現在は実証実験が終了し、内容を精査している段階である。

森委員：奈良県内で本格運行している公共ライドシェアはない。実証運行を行っている事例としては、宇陀市及び曽爾村がある。

3. 令和 7 年度事業決算報告

※質疑なし

4. 令和 7 年度事業報告

1) 質疑応答

- (1) 副会長：ペガサス号の利用者数が減少していることについて、分析は行っているか。

事務局：分析は今後行う予定である。ペガサス号は金富地区、梅ヶ丘地区など人口が少ない地域を回るルートであり、また友が丘地区、服部台地区では自家用車利用も多いことから、全体的に利用者数が減少または横

<裏面に続きます>

ばいとなっている可能性がある。ささゆり号、ほほえみ号については、片岡台地区、桜ヶ丘地区を走行していることから、利用者数は伸びている状況である。

- (2) 吉田委員：片岡台地区は商業地域へ行きたい方もいるため、目的に合うルートであれば利用者数が増える可能性がある。ルートについても分析するとよいのではないか。

事務局：今後、交通空白地への対策や解消も踏まえ、新たな公共交通等も踏まえ、コミュニティバスのルート再編等についても検討が必要かと考える。

5. 令和8年度事業について

1) 質疑応答

- (1) 会長：関係者へのヒアリング調査について、具体的にどのような内容を予定しているのか。

日本工営都市空間：ヒアリングは2回を予定している。第1回では、交通事業者が考える上牧町における地域公共交通の現状及び課題について意見を聴取する。第2回では、計画に位置付ける事業や実施期間について議論し、実効性の高い計画策定につなげたい。

事務局：奈良交通、ひまわりタクシー、志都美タクシーに対し、計画に反映したい質問項目について事前に確認し、回答可能な範囲等を含めてすり合わせを行いたい。

6. その他

1) 質疑応答・意見交換

- (1) 新開委員：コミュニティバスについて、1便当たりの乗車人数や曜日別・時間帯別のデータはあるのか。

事務局：乗車人数の総合計は把握しているが、時間帯別等の集計は現時点では取れていない。

会長：時間帯別集計については、乗車日報があるはずなので、再度確認すべきである。

事務局：再確認し、整理する。

- (2) 澤中委員：コミュニティバスを3台走らせるにあたり、どれくらいの費用がかかっているのか。

事務局：年間3台を運行しており、令和8年度の年間運行委託費は39,676,931円である。

- (3) 事務局 : 今後のスケジュールとして、7月下旬ごろに書面での開催・報告を予定している。また、対面での開催は10月ごろ、12月ごろを予定している。参加が難しい場合はWEB開催も検討する。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人である会長及び副会長が記名押印する。

令和 8 年 7 月 10 日

会 長 阪 本 正 人

令和 8 年 7 月 10 日

副会長 辻 本 隆